2012年4月2日

各　　位

会 社 名　株式会社　東芝
東京都港区芝浦１－１－１
代表名 代表執行役社長　佐々木　則夫
（コード番号：6502　東、大、名）
問合せ先　広報室長　　長谷川　直人
Tel　03-3457-2100

米国バージル・Ｃ・サマー原子力発電所建設運転許可の承認について

当社は、3月31日に米国バージル・Ｃ・サマー原子力発電所建設運転許可の承認について添付のとおり発表しましたのでお知らせいたします。

以　上

２０１２－３－３１
株式会社　東芝

米国バージル・Ｃ・サマー原子力発電所建設運転許可の承認について
－ウェスチングハウス社がＡＰ１０００®を建設－

米国スキャナ電力の子会社であるサウスカロライナ・エレクトリック＆ガス・カンパニー（ＳＣＥ＆Ｇ）は、バージル・Ｃ・サマー（以下、Ｖ・Ｃサマー）原子力発電所２・３号機として当社グループ会社であるウェスチングハウス社（以下、ＷＥＣ）による新型加圧水型原子炉「ＡＰ１０００®」を建設する為の建設運転一括許可（以下、ＣＯＬ）を米国原子力規制委員会（Nuclear Regulatory Commission　以下ＮＲＣ）が承認したと発表しました。ＷＥＣによる米国における新規原子力発電所の建設は、今年２月にＣＯＬを取得したボーグル原子力発電所３・４号機に続くものとなります。

ＡＰ１０００®は、ＷＥＣが開発した最新型の加圧水型原子炉（ＰＷＲ）で、外部動力を使用しない静的安全設計を採用しています。ＮＲＣ内の専門調査チームが東京電力福島第一原子力発電所事故を受けた原子炉の安全性強化に向けた提言を出している状況下においても、昨年末にＮＲＣから付帯条件なしに設計認証を取得しました。現在、中国において４基が建設中です。なお、米国においては、電力事業者よりＮＲＣに対して２８基[注1]の原子力発電所の建設運転一括許可が申請されていますが、その内１４基はＡＰ１０００®で、ＷＥＣは６基分のＥＰＣ[注2]（Engineering Procurement and Construction）契約を締結済みです。

原子力発電は、エネルギーセキュリティおよびCO_2削減の観点から、必要不可欠なエネルギーとして各国における継続した需要が予想されます。当社グループは、国際的な安全評価及び設備基準の見直し等に対する協力を行い、新設プラント設計及び既設プラント改良に反映し、安全性のさらなる向上に向けて不断の取り組みを行っていきます。

注１：審査中断中を含む

注２：ＥＰＣ（Engineering Procurement and Construction）契約：設計（Engineering）、調達（Procurement）、建設（Construction）を含む、建設プロジェクト全体の一括契約

以上